

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝
事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



1997.7.20 No.2

会員増強月間

アッカンベーをするゾウアザラシ「夢海子」
(三重県 二見シーパラダイス)

「全員参加で 会員増強作戦を」

1997～'98年度国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝



8月は会員増強と拡大の月間です。

ロータリークラブが会員という人間で構成されている以上、会員の数がそれを維持する基盤です。そして会員を増加し、新クラブをつくることが、その活性化をはかる原動力になると思います。

今は商工会議所や生産性本部など、いわゆる経済団体でも、会員増強には非常に熱心です。

それは財政的な理由だけでなく、新会員の加入でメンバーの多様化が進み、組織に新しい活力が生まれるからです。

ロータリーの財産は人間であり、人間だけが財産です。私たちはこのことを誇りに思うと共に、だからこそ会員増強が、ロータリアンに課せられた大きな使命の一つであることを、理解しなければなりません。

新会員を推せんすることは、ロータリアンの義務であり、また権利でもあります。それはロータリアンの名誉でもあると思います。

若し貴方がロータリーに入ってよかったと思われるなら、その楽しさと喜びを、隣人に分かち大きなチャンスにもなります。

会員増強成否のカギは、新会員を推せんする会員の割合が、クラブの何%になるかで決まります。20%未満では満足な結果は得られないと思います。この1年で少なくとも3分の1以上のメンバーが、新会員を推せんされるようお願いします。

退会防止も大きな宿題です。高齢化や転勤によるものは別として、とくに新しく入られた方には万全の受入れ態勢をつくってほしいと思います。

だれでも新入社員、新入会員の経験はあります。その時の心細さを思い出せば、新入会員の暖かい迎え方や教育方法は、自ずから開けてくると思います。

若い方や女性の新入会員を増やすことは、クラブに新しい生命を吹き込むことになります。どのクラブも、明かるく行動的な「元気印」のクラブになってほしいと願っています。

新クラブの設立には、時間をかけた組織的な活動が必要で、関係するロータリアン各位のご協力が前提になります。

分区代理、会長、特別代表およびガバナーのチームワークと、これを補佐するロータリアンのご尽力を結集しなければなりません。

97-98年度内に2760地区内で1～2クラブの新設をめざし、近く活動を始めたいと思っています。

世の中すべてのことは、原因があるから結果があります。よくなる原因をつくろうとしないで、よい結果を望んでも無理です。

今から92年前に、ポール・ハリスがわずか4人で始めたロータリー活動が、今では世界中で28,284クラブ、約120万人の仲間を持つ組織となりました。すべてのクラブが、間違いなくゼロからスタートしています。

ロータリー活動の基本ともいえるべき会員増強と拡大は、文字通りロータリアンの努力のバロメーターです。地区会員の皆様に、格別のお力添えをお願い申し上げます。

会員増強月間によせて



地区会員増強委員会 委員長 山田 元

「8月は会員増強月間です」毎年毎年増強は云われて居ります。新しい各クラブの会長のリーダーシップと新しい委員長の下で月間中に増強に関するフォーラムを是非行って下さい。増強は会員増強委員会だけの問題ではありません。あらゆる各クラブ委員会そして全会員の協力と同調なくして達成されません。いいロータリアンを探していませんか。私達はいいロータリアンになれる人を探して行くべきだと思います。余り無理な条件を押しつけないで、それよりも入会してくれた新会員に早く同化して頂く事が大切ではありませんか。犬飼ガバナーが云って居られます。One, Club, One, Colorの目標を定め、その達成に邁進しようではありませんか。女性会員の問題ですが当地区では52名であります。各クラブには事情があると思いますが女性が入会したら退会すると云うロータリアンがありました。結果誰一人も退会者はなく、例会は非常に楽しく、和気あいあいとやって居られると云う話をききました。勇気を出して増強を推進して下さい。ロータリーの心を行動で証明しようの旗印の下、若い会員、長期会員、女性会員ともども目標に向かって邁進しようではありませんか。最後に会員60人未満のクラブは是非とも60人の達成の推進を、又60人を超えるクラブには「アクティブ50」会員の全会員に対する比率を50%以上に達成したいと思います。どうか御協力を御願いたします。

会員増強及び 拡大月間によせて



地区拡大委員会 委員長 加藤 秀夫

会員増強、拡大月間は1987年11月のR.I理事会にて指定された、月間です。

私は永年森林組合長の職にあり、「生物は、その生成が止ったときから衰えが始まる」という話をよくききました。

ロータリーにもこの言葉が当て嵌まると思います。ロータリーが更に成長する過程は、第一に会員増（内部充実）、第二に拡大（外部拡大）所謂新クラブ結成であると思います。我が犬飼新ガバナーは年頭初の方針に新クラブ設立を一ないし二つとかかげられました。このことはガバナーの要請と受けとめ、分区代理からの要望であり、また一方各クラブ会長の決断ではないでしょうか。いま一つは各クラブが迎えられる周年記念事業ではないかと思います。

いづれにしても新クラブを設立するために必要なことは“短期集中力”と“盛りあがる熱意”や“会員相互のコンセンサス”が大事でありましょう。今第2760地区拡大委員会はP.D.G.蜂谷、石川、松本の三方をカウンセラーとして列席して頂き、限りの努力を傾注する所存でありますので関係諸氏の友情を精一杯お送り下さらんことをお願いいたします。

一年間で14名の増強

岡崎東RC'96～'97年度会長 永田 和氏
会員増強委員長 長坂 勲

当岡崎東RCは、本年度('96～'97年度)地区協議会の際に於て、会長と相談の上、増員目標数を、5名とアンケートに記入しました。然し年度末において目標数をはるかにオーバーし14名の増員を得ることが出来たのです。

一年の間に14名の増強が出来たのは、今まででもなかった事と思いますが、増強委員会だけで増強出来る訳もなく、全会員の一致した団結の結果であると思います。

増員出来た理由

1. 3年程前より、「来る25周年('98年)」には会員数を100名にしようという目標人数を設定し歴代会長が事ある度、増強に関する話をし、会員の意識の集中が出来あがった事だと考えますし、会員個々が自分の周囲に目を向けてくれた事で、新入会員の掘り起こしが出来たのです。
2. 会計担当より、12名位の増員が無い場合は、会費の増額をという話もあり、会長より、ニコニコと増強の委員会に対して、予算作成上のこともあるので全会員に理解してもらう様数度の打ち合せ会を持ったのです。
当然ながらすべての会員も十分に理解し、協力を申し出てくれました。
3. 会長と増強委員会とが、常に連絡を取り合った事と、時間の許す限り、会員と適格者に関する情報をもらい、入会前でも情報委員会の参加を得て当人にアタックをしたのです。
次に一年を3ヶ月単位として4区間に期間を区切り、その区間に3名位の新入会員を目標としたのです。
先ず第一に会長が新入会員の入会をという事で実行し、会員の意識を増強に向けました。
4. 一年で14名という増員は、私も含め会員各氏も新入会員の氏名と顔とが、短期間で判然としません

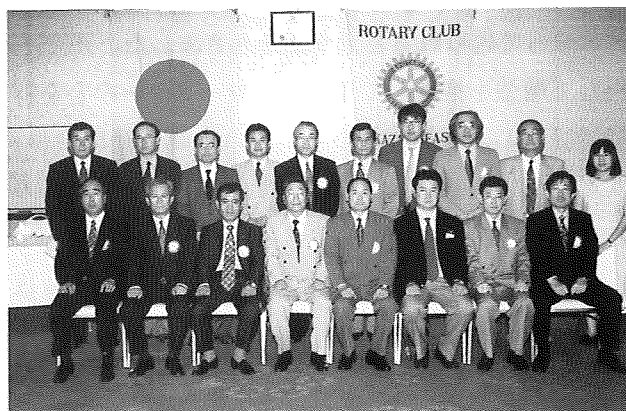
が、これは時間が解決してくれるはずであります。私が入会した頃には、一年で2～3名の入会であり、先輩諸氏と語り合うまでに2年程の時間を要したのですが、本年の14名の入会者は、同期意識も出来あがり委員会の活動等も勉強出来るのではと考えております。又10年20年先と将来に関して、当然世代交代を考えて、若年層の入会に重点を置きました。

以上簡単に理由の主だった点を列記したのですが、最終的に会員全員の連帯意識が、増強一点に集中した結果だったと思います。

私個人としては、誰でも友人を持っており、その人達にロータリーの細部を話し当然家族も含めて納得し入会してもらう様、会員各位に話し掛け協力をいただいた結果だったと思っております。



新入会員情報委員会炉辺会議



新入会員

グラスゴー国際大会に参加して

（1997年6月15日～18日）

第2760地区ロータリーの友委員会

委員長 種村 桂介（名古屋栄RC）

ロータリー国際大会への参加は、これまでの6年余のロータリー生活の中でも、もっとも有意義で楽しく感動的なものでした。そして、大会前と後のエディンバラ、グラスゴー、ロンドンの旅は終生忘れえぬ歴史散策の旅ともなりました。

この1997年グラスゴー大会はスコットランドで開かれる2回目のR.I年次大会で、第1回目は1921年エディンバラで開かれています。これは米国以外で開かれた最初のロータリー大会で、2,523人のロータリアンが参加したと記されています。

76年後のことしの大会参加者は25,000人。大会はすべての課題をなし遂げ、その任を果たしました。私たち第2760地区の犬飼栄輝ガバナーは喜美子夫人とともに出席され、ハードな日程を精力的にこなされ、大会成功に貢献されました。

私は片山主水地区幹事、名古屋東南ロータリー、名古屋港ロータリーの仲間とともに参加しました。

①第1回本会議・大会開会式（6月15日）

オリンピックスタイルによるロータリー加盟国国旗の入場で「JAPAN」国旗の行進には思わず、こみあげてくるものがありました。

英国海兵隊楽団の演奏・ホスト国連合王国の国歌演奏、ジャイ会長の母国アルゼンチン国歌演奏。聖火点火のあとユネスコ事務局長フェデリコ・マヨ・ザラゴザ氏の基調講演「未来に築く文化遺産の重要性」、ジャイ会長の「歓迎のことば」とつづきました。

ジャイ会長は「豊かな歴史と進取の気性を誇りにするグラスゴーは私たちが未来の可能性を眺める一方、過去の業績をふりかえるこの年次大会にとって、理想的な地といえましょう」と述べ、若い人たち、新世代の育成に力を尽す重要性とこれまでの活動の成果、そして「未来を築くための行動力と先見の眼」をもち尽力しようと力強く訴えました。

②友愛の家

開会式翌日の6月16日は「友愛の家」を訪れました。まさに地球人種の見本市。勢気に包まれ、

親しみをこめたバナーの交換があらこちらで行われました。

また数えきれないほどのグループとプロジェクトブースが広い会場に設置され、RC活動の広がりを実感。219番ブースの『禁煙運動プロジェクト』では禁煙を全世界的にすすめることの重要性をあらためて痛感しました。

③スコットランドとロンドンの旅

スコットランドの美しさは、訪れて初めて知ることができました。古都エディンバラの歴史と産業革命のグラスゴー。そして首都ロンドン。

街路灯にも鉢花が飾られ、ベランダに花々が咲く街並み、建築物の保存など学ぶべき多くを感じました。

なお、イギリスの料理はよく言われるように決して美味ではありませんでした。ホテルサービスの細やかさ、行き届いたルーム設備など見事であるのに、なぜ料理だけこんな水準にとどまっているのか不思議で、ロンドンの五つ星ホテルでの朝食はイラ立ちさえ感じました。でも待てよ、これがイギリスの食文化で、この民族食を土台にしている素晴らしいイギリスがあるのだと感得しました。他民族の食を簡単に美味い、まずいと決めつけることの傲慢さを初めて悟りました。

イギリスを身近かに知りえたのも国際大会に参加したからこそと思います。国際大会への参加は地球世界を肌で感じるすばらしい旅でもあり、来年も参加したいと思っています。

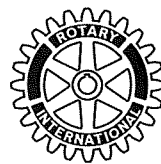


開会式
イブ록スタジアム



国連教育科学文化機関（ユネスコ）

と



国際ロータリー

との同意事項に関する覚え書き（要旨）

1997年から2001年までの共通関心事項における協力について

教育科学文化機関（以下、ユネスコと呼ぶ）および国際ロータリー（以下、RIと呼ぶ）は、

全世界、特に開発途上国の開発に、教育、科学、文化の促進に寄与するユネスコの役割および定款に記述されたユネスコの目的のみならず、共通の関心事項において相互協力する意欲と準備体制を有することを認め、

*ユネスコ創設の気運を醸し出した1943年のロータリー会議およびロータリー財団の奨学金プログラム創始当時のユネスコの協力に遡るユネスコとRIの長年にわたる有益なパートナーシップの存在を認識して、1997年から2001年までの間、下記の特定分野において協力し合うことに同意した。

1. 科学、テクノロジー、環境保全教育…ユネスコ

ロータリー天体地球保全プログラム…RI

双方の組織団体は、世界の何処においても可能な限り共同活動を開発するために、この分野における方針や行動計画についてインフォメーションを相互交換するものとする。殊のほか、安全な飲料水の重要性を認知し、ユネスコとRIは、訓練、教育用の資料の開発についての専門知識を分かち合い、人々が貴重な天然資源として水を節約することを奨励し、そのインフォメーションを伝播し、簡単に持続性のあるテクノロジーを用いて安全な飲料水の供給につとめるものとする。

2. 人権と寛容心の教育…ユネスコ

ロータリー保健、飢餓追放、人間性尊重プログラム…RIのロータリー財団

RIは、すべての人たちが適切な食糧、住居、生活、教育を受ける人権を擁護し、すべての人たちの間の善意と理解の増進につとめてきた。この努力は今後も継続され、可能な場合には、ユネスコと協力して続けていくものとする。

3. 女性の地位…ユネスコ

ロータリーの未来の社会における女性活動…RI

幾つかの国においては、女子は男子と同じ教育を受けることができないため、識字不能人口の3分の2は女性である。RIは、ユネスコと提携して、女性の地位の向上、特に全世界における基礎教育の実施、殊のほか女子に対する教育に協力する。更に、ユネスコとRIは、その提携プ

ログラムおよび活動のすべてにおいて性的差別の撤廃に尽力する。

4. 平和の触媒…ユネスコ

ロータリーの平和な都市づくりとロータリー財団奨学金…RI

ロータリーは、ユネスコと提携して、各地域社会のレベルにおいて貧困問題の解消、読み書き能力の向上をはかる教育の増進をはかり、ロータリー奨学生の手配を含む、ロータリー財団奨学金プログラムにおける協力を継続させる。

5. すべての人々のための教育…ユネスコ

ロータリーの識字・計算能力向上プログラム…RI

識字不能と貧困とは深い繋がりがあることを認め、RIとユネスコは、すべての人々のための教育を増進させることに力を合わせて活動するものとする。

6. 青少年とスポーツ・プログラム…ユネスコ

ロータリーの新世代のためのプログラム…RI

ロータリーの長年にわたる、教育プログラム、保健、リーダーシップと職業技術の訓練、薬物濫用問題との闘いなどを含む、若者たちへの奉仕活動は、新世代に対するユネスコの活動を強化するものである。この二つの組織は、できる限り、共通の目的をめざして協力するものとする。

7. 国際、地域、各地のレベルにおける協力とコミュニケーション

RIは、世界中のクラブが実施するプロジェクトや活動について、インフォメーションを与え、推奨し、指導はしても、指令はしない、草の根レベルの国際的組織であるものと理解する。従って、RIは、クラブや地区が、提携プロジェクトを開発することを目指して共通の関心事項につきユネスコと連絡し合うことを奨励する。一方、ユネスコは、その支部がそれぞれの担当地域のロータリー・クラブや地区に対してインフォメーションを提供し協力することを奨励する。

この同意事項の覚え書きには、特定の共通関心事項における協力の全般的な合意分野を含むものである。



共同宣言

国際ロータリーおよびライオンズクラブ国際協会

国際ロータリーとライオンズクラブ国際協会は、百年近く、地域社会奉仕と人道的奉仕を幅広く行うことに、優れた指導力を発揮してきた。今後も、ロータリアンとライオンズが人類のために更に献身することが期待されている。

ライオンズは、「暗闇との闘いで盲人の騎士」になってくれと、ヘレン・ケラーが挑戦した1925年以来、視力関係の奉仕に偉大な功績を残してきたことで良く知られている。ライオンズはこの挑戦を直ちに受け入れたのであり、その不朽の努力は、今日、予防と治療可能な失明を征服しようとする大々的な視力ファースト・プログラムに見ることができる。

ロータリアンは、小児麻痺（ポリオ）を地上から撲滅する運動のパートナーとしての功績で、評判を高めている。ロータリアンは、この挑戦を快く受け、その固い決意は、今日、小児麻痺（ポリオ）という恐ろしい病気を撲滅するポリオ・プラス・プログラムに見られる。

これらのプログラムや地域社会内での他の事業を通してロータリアンとライオンズは、地域社会の指導者たちとの間で、強いパートナーシップを築いたのである。そして、このパートナーシップが、これらの地域社会の基盤を強化しているのである。

このような奉仕をするにあたり、ロータリアンとライオンズは、自分たちが人道主義者であると共に、地域社会の指導者として良きパートナーであり、世界各地で実際に必要とされている奉仕に真剣に尽くしていることを、しばしば実感している。

国際ロータリーのモットーである「超我の奉仕」とライオンズクラブ国際協会のモットーである「われわれは奉仕する」は、ボランティア活動が地域社会の健康と福利の基盤であることを、世界各地で実証している。

大成功している国際ロータリーのポリオ・プラスと、

同様に成果を挙げているライオンズクラブ国際協会の視力ファースト・プログラムは、ボランティア活動がもはや選択自由の活動ではなくなっていることを、各地域社会において証立している。それは、肝要不可欠なのである。

ロータリアンとライオンズは、真のボランティア精神を例証する活動をしており、個々の会員としても組織としても、世界の賞賛と尊敬の的となるような言動をしてきたのである。

こうして世界各地のロータリアンとライオンズは、社会から期待されることを実行することにより一般住民の協力を得、その協力が、人類の緊急のニーズに答えるロータリアンとライオンズの活動を支えているのである。

政府関係者や一般人と民間グループとのこのパートナーシップは、どうしても必要である。そこで、国際ロータリーとライオンズクラブ国際協会は、それぞれの目標達成を成功させるため、多くの公共機関および民間機関と全面的に協力することが肝要であり、ためになることを認識している。

ロータリアンとライオンズは、人々の社会福祉を助長する政府活動のいかなるものも強く支持し、公平と誠意、並びに「与える」ことが「受ける」ことより重要であるボランティア・サービスを、常に実践している。

ロータリアンとライオンズは、ボランティア援助活動の分野の識者である自分たちが、社会からますます多くを期待されていること、並びに人道主義的奉仕の可能性は無限であることを、深い責任感と道徳的義務をもって認識する。

従って、国際ロータリーとライオンズクラブ国際協会は、人類には欠かせないボランティアの精神を気づかいと思いやりの最高の基準とするべきことを、意欲と熱意をもってここに宣言する。

この宣言は、国際ロータリーおよびライオンズクラブ国際協会の理事会によって採択されたものである。

1997年3月

本会議

1642名参加のもと定刻松本ガバナーの点鐘から始まり、小林実行委員長の開会のあいさつ、つづいてホストクラブ北村会長の歓迎の挨拶、犬飼ガバナーノミニーによる特別出席者及び地区委員紹介の後、松本ガバナーの挨拶が行なわれ、式次第に沿って進行する。引き続き、本日のメインである犬飼ガバナーノミニーによる『新しい年度の目標について』、その決意と基本方針がより具体的に示された。

その内容について、要約すると、次の様になる。

第一に、グレン・キンロスRI会長が示された新年度テーマ

SHOW ROTARY CARES	ロータリーの心を
for your community	あなたの住むところに
for our world	私たちの世界に
for its people	そこに住むすべての人々に

この新しいテーマのもと、具体的なプロジェクトを推進して、行動で証明しよう。

第二に、新しいリーダーシッププランにもとづき、分区代理の任務を強化し、実質的には補佐の役割を果たすようにして、ガバナー実務の組織化をはかり、ガバナー公式訪問も形を変えて合同例会形態とする。

第三に、新世代育成と環境保全については、昨年から『新世代会議』を引き続き継承していくとともに、ロータリー財団プロジェクトとして、十年振りに、G.S.E（研究グループ交換）を復活し年度内に実施する。

第四に、地区内76クラブ『ワンクラブ・ワンカラー』をテーマに、クラブ運営の面や奉仕活動において、独自の重点テーマ、または会長方針を設け、その実現に大いに努力して欲しい。

以上の様な、ガバナー方針が具体的に示され、参加者一同、気持ちを新たにして、方針にそって全力投球を決意した。



第1分科会 [会長・幹事部会]



松本宏ガバナーより、立派なクラブを作るには会長の時間を有効に活用することと、今度のニューリーダーシップを実行してはどうかというアドバイスがありました。

ガバナーノミニーの犬飼栄輝氏からは良いクラブを運営していくには、まず会長と幹事は一心同体になること。特に幹事は会長の女房役、裏方。クラブを動かすコツは、第1に報告、連絡、相談を

密に、第2に Be your self この1年はあなたの1年であることを自責する。第3にG.S.E（研究グループ交換）を17年ぶりにとすることでした。

地区幹事の内田栄一氏からはロータリーは奉仕・親睦・出席が大切であるということと、ガバナーズレターの全会員講読の要請がありました。続いて近藤三吉次期地区会計長より、クラブ会計担当者の役割を、次期地区資金委員長の森武保氏から各クラブの会費や入会金の紹介・比較。続いて地区予算について片山主水次期地区幹事より細かな説明のあと、松本宏ガバナーによって満場一致で承認されました。大変有意義な分科会でした。

第2分科会 [クラブ奉仕・ 会員増強部会]



最初に、石川パストガバナーより若い人や女性会員の増加とニコボックスの活用等による奉仕の充実の重要性について問題提起がなされました。

次に、上野山次期クラブ奉仕委員長より、3%の会員純増、クラブ奉仕委員会の監督・調整機能のチェック、休眠会員やメイクアップに関する出席の充実等の目標が示されました。

加藤次期地区拡大委員長からは、少なくとも新クラブを一つは設立したいという抱負が述べられ対象地域の示唆もされました。

種村次期地区ロータリーの友副委員長は、ロータリーの友やロータリー名簿等の利用を力説され山田、福井両アシスタントリーダーもそれぞれ有益な見解を開陳されました。

犬飼ガバナーノミニーは、「元気印の拡大・増強・奉仕」「ワンクラブ・ワンカラーの具体化」を強調されたうえ、引継ぎといわゆる「報・連・相」の重要性を指摘されました。

第3分科会 [職業奉仕部会]



最初に、蜂谷パストガバナーより「ロータリー発祥の経緯と職業奉仕」と題してお話があり、大切な事は自らの職業に誇りを持ち、同時にその職業に全力で邁進する事こそが、この職業奉仕の基本理念であると、判りやすく説いておられます。

次に岡本次期地区職業奉仕カウンセラーより、「職業奉仕の変遷と実践の成果」を主題に職業奉仕こそ、ロータリー活動のなかで最も基本的で、且

つ親しみの持てる活動、つまり職業の違いを乗り越えての交友から新しい人間の輪が広がり、人それぞれが人生において「友人」を持つことがいかに大切な事なのかを教えられる活動であると有意義なお話がありました。

次に「職業奉仕の基本的な考え方」について宮本次期地区職業奉仕委員長より「職業宣言」等についての説明がなされ、山田、有馬両次期分区代理から職業奉仕の事例研究に関して「4つのテスト」について毎日考える事の大切さを教示されたのち質疑応答に入り、多くの熱心な質問が出て有意義な分科会で終始しました。

第4分科会

[社会奉仕・環境保全
・RCC部会]



進行役は次期社会奉仕委員長花井文雄氏の司会で進められ、社会奉仕について (1) 貢献する。(2) できないことをしてあげる。(3) 楽をさせてあげる。手助けをする。(4) あることを行う (神のために) 以上4点と奉仕の言葉「service」について分かりやすく話されました。

次期環境保全委員長杉浦恵造氏は地球環境への影響大なるものを列举、憂慮の意思表示がありました。即ち、コンピュータの普及に伴う鉛、バリウム等が地中に蓄積され数十年先が心配、又自

動車燃料の将来を考える時、早い機会に電気自動車の徹底推進を計ることが目下の急務である。環境問題は非常に大きな問題であり全ロータリアンの理解を深めたいと言われました。

次期RCC委員長市田弘治氏は、RCCの活動について地域社会での問題点を探し、RCCと地域共同体として解決していくようにと話されました。

終わりに野崎洋二氏から、今日もっと活発な意見が沢山出て欲しかった等、辛口の論評もありましたが、宮地パストガバナーの締めくくりの言葉、「皆さん易しそうで難しいテーマに長時間取り組んでいただき有り難うございました。」で終了しました。

第5分科会

[国際奉仕部会]



杉浦次期国際奉仕副委員長の司会により、分科会が開催されました。

最初に林次期国際奉仕委員長より、国際奉仕活動の目的、役割等について説明があり「国際理解を深め平和の重要性を認識しながら使命感に燃えて活動したい」との話がなされました。

続いて青少年交換、世界社会奉仕、国際友好の各

小委員長から、それぞれの活動目標と方針が説明されました。それを受けての質疑応答では、いくつかのクラブから現状報告がなされ、内容のある充実した分科会でした。

最後に、アドバイザーとして、吉村次期国際奉仕カウンセラーが「国際奉仕委員会は、奥の深い困難な仕事です。継続性があるので前委員長から充分引き継ぎを受けて活動をして頂きたい。又、各クラブ単位の活動が本筋であることを認識して欲しい」と助言・講評し、終了しました。

第6分科会

[青少年活動・
インターアクト・
ローターアクト部会]



鈴木青少年活動委員長の司会により、第6分科会が開かれました。加藤正男次期青少年活動委員長は、ワンクラブ・ワンカラーの中にも「ロータリーの心を」というRIのテーマを基に、「ロータリーの心を新世代と共に」を年間のテーマにして、各クラブにおける青少年活動を行っていききたい。皆様のリーダーシップをもって新しい命を与え、少しでも大きく膨らましていけるようにと力強く

アピールされました。

石川次期RAC委員長は、時代の変革を担う者は若者であり、その若者を育成するのがRACの最大の責務である。具体策として、(1) 引き継ぎをしっかりとて欲しい。事実の引き継ぎのみでなく前委員長のしたかった事、即ち「心の引き継ぎ」をしっかりとてほしい。(2) RCは個人中心であるが、そうではなく組織の論理をもって考えて欲しい。(3) RACの現会員を中心として会員増強を目指す事を述べられました。

坂本次期IAC委員長は、ビデオ映像により、その活動状況の一端を「IAC地区協議会」と、「海外

研修」で紹介されました。あと5クラブ位の新設が望ましいので、未提唱クラブ青少年活動委員長のご協力を得たい。ポイントは次の如くである。①高等学校校長を説得する。②顧問教師の協力を得

る。③初めに約15名の会員を集める。④RCでIAC委員会を設立する。⑤RIに承認申請をする。⑥年間予算を50万円程度計上する。

以上のお話がありました。

第7分科会 [ロータリー財団部会]



矢島リーダーより、ロータリー財団全般についての説明がなされました。

鈴木氏より、財団プログラムの説明と当地区の寄付目標と必要性、支出について説明がありました。国連の緒方さんの働きが、多くの子供たちを助けていることは、この財団の意義あるものであり、今後必要であることを説明され、又、国際

的に活躍する若者のためにある、とのこと……。長谷川氏からは留学についての具体的な説明がありました。男性の留学生の少ないことが報告され、是非、推薦されたいとの提言がありました。

梅村氏は財団学友会についての報告と、ポリオプラス事業での伝染病追放の活動で、インド及びアジア地域の子供達へのワクチン投与の実状を大いに力説されました。

又、松前氏は研究グループ交換（GSE）を開始するための計画と説明をされました。

第8分科会 [米山記念奨学会部会]



日本の大学及び大学院に在籍している外国人留学生に奨学金を支給し、国際理解と親善に寄与することを目的とするこの会は、1953年東京RCが創立者、米山梅吉氏の功績を記念して創設された「米山基金」から発展したものです。1967年財団法

人ロータリー米山奨学会となり、現在基本金50億円で文部省の管轄下にあります。

ロータリアン1人につき年額千円以上が定額で寄付される普通寄付金と、他に特別寄付金等があります。1,000人の留学生に奨学金を支給しており、奨学生募集と選考とお世話等が主な業務です。

1996年7月より1997年3月までの間で、普通寄付金は220,730,000円、特別寄付金は6,900,000円とのこと、1人平均13,400円となっております。

第9分科会 [新会員・一般会員部会]



登録人数総数622名、そのうち552名が新入会員という盛況の中で開会した当分科会では、冒頭、加納泉リーダーから、「人が生きていくうえで一番大事にしなければならないのは家族。二番目に自分の仕事。三番目に趣味だと思う。ロータリーライフはこの趣味の世界と同じレベルで付き合い頂き、奉仕を通

じて人生の矛盾を和らげ楽しんで欲しい」との話がありました。

さらに、各アシスタントリーダーから分野別の歴史・組織・現状の活動についての説明がなされ、リーダーから「第2760地区は新しい試みとして分区代理の活動を強化して地区内の活性化を計り、色々なニーズに積極的に対応しますので皆様方のご協力をお願いいたします。」との意見を受け、各自がロータリーの精神や活動についての理解をさらに深めることができ、有意義な研修の機会となりました。

《ロータリーの心を新世代と共に！》



地区新世代プロジェクトといたしまして9月の新世代月間に、犬飼ガバナー主催「新世代のためのロータリー園遊会」を開催いたします。企画・運営につきましては犬飼ガバナーのご指導のもと、青少年活動委員会を主幹として進めさせて頂きますが、地区内全クラブにおかれましても重点プログラムとしてご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。



主 旨

新世代月間にちなみ、国際奉仕（青少年交換）・青少年（IAC/RAC）ロータリー財団・米山記念奨学会、以上4委員会の各プログラムに参加している新世代の方々に對し、楽しくかつ意義ある交流の機会を提供する。（新世代プログラムOB/OG及びロータリアン配偶者も参加可）

プ ロ セ ス

- ・犬飼ガバナーと共に半日を過ごし、ガバナーのスピーチによりロータリーの新世代活動に対する理解を深める。
- ・日本文化のシンボルである明治村を見学することを通じて、日本に対する理解を新たにし、教養を深める機会とする。
- ・お互いに活発に交流し、相互間の友情を築く。
- ・参加ロータリアンズは、新世代の人たちに対しロータリーの心と共に接し、期待を示し、激励をする。

プ ロ グ ラ ム

1997年9月15日（月）
 ～11：30 名鉄犬山ホテルにて受付け
 11：30～12：30 昼食（各委員会別）
 12：30～13：00 移動（マイカー）
 13：00～15：00 明治村見学（ガイド付き特別コース）
 15：00～15：30 ティータイム
 15：30～16：00 ガバナースピーチ（聖ザビエル天主堂）
 16：00～ 解散

参 加 者

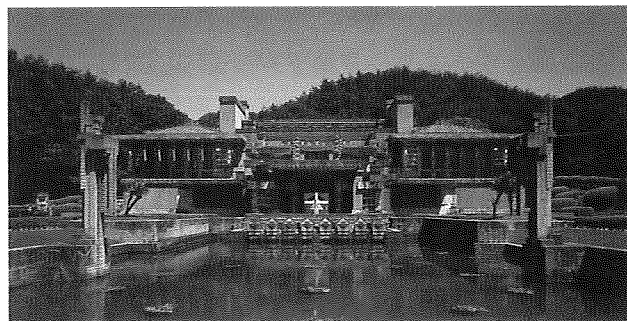
- ・地区関係ロータリアンズ
- ・新世代参加者（IAC/RAC/財団/交換学生/米山）
- ・新世代担当ロータリアンズ
- ・各クラブ会長もしくは代表者の方

そ の 他

- ・参加費：ロータリアン（及び配偶者）@¥10,000
新世代参加者は無料。
- ・マイカーにて現地集合。
- ・服装はノーネクタイ、楽しく屋外で過ごすために適当なもの。

以上の趣旨、開催要領等をご参考の上、多くのご参加をお願い申し上げます。

青少年活動委員長 加藤 正男



……………地区委員会からのお知らせ……………

すばらしい活動・インターアクトを青少年に

インターアクト(小)委員会 委員長 坂本 康信

インターアクトクラブは1962年に米国フロリダにおいて創立され、高校生を対象にした

- (1) 社会奉仕・ボランティア活動、
 - (2) 国際理解・交流に関心を持って行動する
- 世界的な青少年活動であります。

活動を通して人格・人間性を養い、更に社会・世界で活躍できるリーダーシップを養い、次代を担う指導者の育成につながっております。

*Inter Act—International Actionの意味

現在、世界には69ヶ国、2,396クラブ、155,043名、日本では489クラブ、14,816名。2760地区では13クラブ、472名が参加し、地域と学校で福祉・国際理解・交流に活躍し成果をあげております。

このようなすばらしい活動のチャンスを青少年に与えるのがロータリークラブの役目であります。インターアクトクラブは、青少年自身の手による青少年活動であり、難しくありません。是非あなたのクラブもインターアクトクラブの提唱をしてみませんか！

●地区インターアクトクラブの年間行事

7月20日(日) 於 津島勤労福祉会館

* インターアクトクラブ協議会

7月25日(金)～8月3日(日)

* インターアクトクラブ海外研修派遣

於 オーストラリア・シドニー

11月22日(土) 於 名古屋YMCA

* 地区インターアクトクラブ役員研修会

1998年2月28日(土) 於 名古屋YMCA

* インターアクト顧問・委員懇談会

……………地区委員会からのお知らせ……………

ロータリー財団学友会活動について

R財団学友会(小)委員会 委員長 梅村 東

ロータリー財団学友会 (Foundation Program Alumni) は、各地区の推薦でロータリー財団奨学生として諸外国で学問を終了された学生、つまりいわゆるOBまたはOG (以下学友) で構成された組織です。学友会は基本的に「元ロータリー財団国際親善奨学生」と「元研究グループ交換 (G.S.E) チームメンバー」から成り立っています。

そしてこの学友会の目的は、帰国後の学友同志の交流と親睦を深め、更に今後国際親善奨学生として各国に派遣される方々に多方面にわたってアドバイスまたはサポートをしていくことにあります。国際親善奨学生の場合、財団奨学生として地区から推薦され参加することが決まった時点で自

動的に学友会に登録されます。国際親善奨学生として留学終了後、学友会のメンバーとして本格的な活動に入ることになります。

○事業年度 4月1日～3月31日

○会員現況 男性93名 女性162名 総計255名
('98～'99新奨学生20名を含む)

○学友会役員 (1997～'98年度)

代表幹事 古橋 武之 ('76年度G.S.E 名古屋北)

幹 事 下村 昇 ('87年度奨学生 名古屋守山)

伊藤 尚代 ('92年度奨学生 知多)

近藤 雪絵 ('93年度奨学生 名古屋東南)

水野 教子 ('94年度奨学生 碧南)

事業内容

1. 第13回財団学友会総会並びに壮行会

'97年5月18日(日) 10:00～13:00 毎日ビル国際サロン

2. 新奨学生のためのガイダンス

'97年7月27日(日) 13:30～16:00 毎日ビル国際サロン

3. 新奨学生地区大会参加

'97年11月9日(日) 田原町

4. 新奨学生のためのオリエンテーション

'98年1月25日(日) 13:30～16:00 毎日ビル国際サロン

5. 学友会名簿の作成と維持管理

6. 学友のロータリープログラムへの参加 卓話など

本年度も引続き学友会の活動にご理解、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



第4430地区(サンパウロ)と第2760地区(愛知)が G.S.Eの成功を誓う



第2760地区G.S.E委員会は、第4430地区ブラジル事情研究と事前打合せのため、6月24日から7月1日まで海外研修旅行を行い、無事帰国しました。メンバーは次の4名です。

地区副幹事	大西 弘高
地区G.S.E委員長	松前 憲典
地区G.S.E委員	加納 隆
地区G.S.E委員	犬飼 芳樹

1週間の旅でしたが、ブラジルは日本の裏側、遠い国でした。

名古屋よりロサンゼルスを経由してサンパウロへ、約24時間の旅は初めて、翌日「時差ボケ」があり、猛烈な睡魔に襲われました。時差ボケは、短くて2日、長引くと約1週間「夜に目が冴え、昼には居眠り」の日が続くといわれています。

今回の目的を成功させるため、両地区の委員会と親しくお目にかかり、打合せを行いました。

サンパウロの各RCより大変な歓迎を受け、第4430地区森和弘ガバナーと親しくお会いすることが出来ました。

6月25日にはリベルダーデRC例会とサンパウロ・北RC会長就任式、6月26日にはリベルダーデRC歓迎会の各会合に出席し、犬飼ガバナーよりの

親書とお土産を森和弘ガバナーに例会上でお渡ししました。

第4430地区の国際奉仕委員吉川卓志君、地区G.S.E委員長酒井清一君、第4430地区スザノRC豊田淳治君（歯科医）がG.S.Eのリーダーに決定していました。

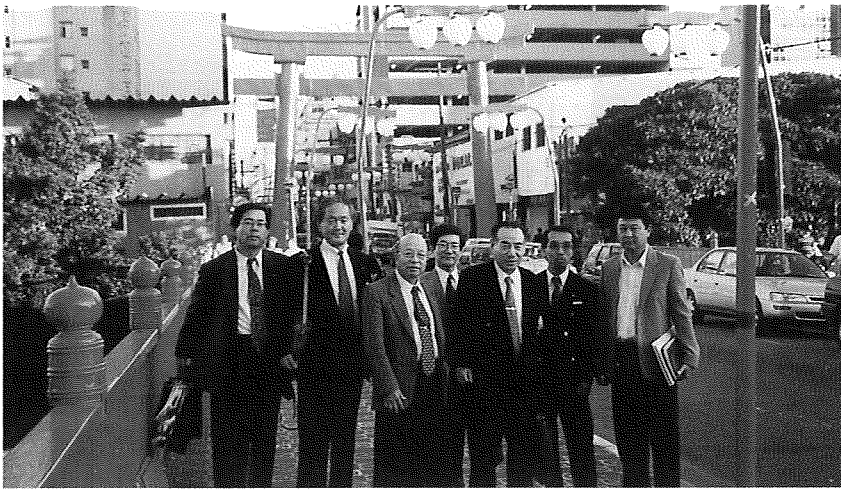
第4430地区は、1996年に第2660地区（大阪）ともG.S.Eを実施しており、参考資料として交換要領の書綴をいただきました。

第4430地区では、7月より派遣メンバーの募集を始め、10月頃までに決定したいとのこと。当地区でも選考委員会を組織し、近々交換グループ4名の選考を始め、受入れにつきましても万全を期してゆきたいと思っています。

第4430地区と第2760地区が能率的かつ有効的にG.S.Eを実施出来るよう、成功に向かって頑張ることを誓い合いました。

ブラジルには130万人を越える海外最大の日系人社会が存在します。再来年には日本人ブラジル移民100周年を迎え、両国の友好親善関係が益々深められつつあります。

この意義ある年に両国がG.S.Eを実施することは、新世代の育成の一環として、大変有意義なことで、是非とも成功させたいと思います。



○ブラジルは多様な国、国土は日本の23倍

ブラジルは、人種も動植物も多様な国です。国土は日本の23倍、広大な国に広がる人口は1億6千万人余り、ラテン民族を主とした欧州系の白人が大半で、黒人や先住民のインディオとの混血が目立ちます。また、130万人を超す日系人も多民族国家ブラジルに定住していますことから、この国は“人種のルツボ”ともいわれています。

○中南米一の工業国

ブラジルは、1992年にはマイナス成長に落ち込んだ国内総生産の成長率が5%前後まで回復してきました。

豊富な資源と肥沃な土地と労働力に支えられ、ブラジルは中南米で最大の工業力を持ち、輸出の70%までが工業製品で占めています。

農業生産では、コーヒー、オレンジ、砂糖きび、バナナが世界第一位、第二位には大豆、ココアがあります。

鉱業では鉄鉱石、スズ、ウラン、金などは世界的な産出国です。石油でも50%以上自給出来るようになり、日産80万バレルの生産を続けています。

反面行政改革では税制改革、公務員削減、国営企業の民営化などのインフラ政策が遅れ、対外債の累積も新債務戦略の適用を受けて元本削減と繰り延べで一息ついているのが現状です。

○大自然と世界的に知られるカーニバル

ブラジル観光の魅力の一つに、世界に類を見ない大自然があります。また、リオ・デ・ジャネイロは世界的なカーニバルで知られています。



愛知ロータリー ホームステイ調査

愛知県の国際ロータリークラブ（RC）第二七六〇地区から二十五日、四名が来聖。リベルダーデ、サンパウロ北RCと交流を行ったほか、文協、援協、移民史料館などを訪問した。

同RCは来年四月から五月にかけて一か月間、サンパウロ市東部からスザノ市にまたがる国際RC第四四三〇地区と研究グループ交換（GSE）を行う。これは両地区の社会人同志が、ホームステイを行いながらそれぞれの職業に合った場所を訪問し、相互に学習し合うというもの。今回の来聖は、この事前の打ち合わせをするため。迎えた側であるサンパウロのRC関係者は、「遠いところから来て頂いて恐縮です」と遠来の一行を歓迎した。

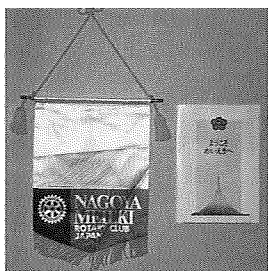
来聖した一行を代表して、松前憲典同地区GSE委員長は「新世代の育成の一環としてサンパウロのRCと研究グループ交換を行えることを、大変光榮に思う。日伯両国は一昨年、修好百周年を迎え、友好親善関係を強固なものにした。また今年には天皇皇后両陛下が歓迎を受けられ、さらに翌年には移民九十周年を迎える。この意義ある年にGSEを実行することは、大変有意義なことと思っている」と話していた。

「サンパウロ新聞1997.7.3（木）号」

クラブ紹介

名古屋名駅 ロータリークラブ

広報委員長 稲川 守彦



1991年4月、チャーターメンバー66名でスタートしました名駅ロータリークラブはその後会員増強に努め、今期102名となりました。これは2760地区で13番目の規模となります。

構成メンバーは地元企業経営者及び場所柄大手企業の支社長・支店長も多く、平均年齢は57.4才となっております。スマートで洗練され真面目な人達の集まりであります。シンボルマークを地元椿神社に因んで「赤い椿の花」と定め、「椿賞」という表彰制度を持っており毎年4月に実施しております。

この賞の対象は、既に成功した人に対してではなく、その試みが社会のため、人のためより良い社会環境づくりに努力しているプロジェクト又は個人を表彰対象とし部門は問わないことになっております。前期（1996～97）で6回目を実施し、10年間にわたる視覚障害者のための点訳ボランティアグループに対して表彰が行われました。過去5回にわたり表彰されたプロジェクト又は個人に対してはその後の接触をはかり、引き続いた援助又協力関係も結んでおります。

奉仕活動も活発に展開されていて、例えば阪神大震災の折には、当地区最初の義援金提供者となり、当時の蜂谷ガバナーも大いに感激されました。又前期は社会奉仕委員会が、ゲートウェイフォーラム21ナゴヤと題する3ロータリークラブ（港、空港、名駅）合同のパネルディスカッションを主催しました。これは新しい時代を迎えようとしている今、駅、港、空港を交通拠点としての機能だけではなく、都市の玄関口という観点から生活文化の交流の拠点として新たな考察を加え、21世紀に向けた名古屋の生きる知恵を生み出していくことを目的とした内容で、新聞紙上にも取り上げら

れ高い評価を得ました。

親睦活動も盛んで、夜間例会、家族旅行、家族懇親会は定期的に開催されています。前期には犬山城をバックにした薪能と夜桜の鑑賞会を開催し、会員、家族の皆様に喜ばれました。今期は鶴飼見物を兼ねた家族会が予定されています。又、当クラブでは同好会が9つあり、加入人数も延204名と多く、クラブ内の親睦に貢献しています。

職業奉仕に関しては、活動を職場見学に限らず、学生を職場に招いて、就職情報の提供、或いは研修も開催されています。最後に今一つこのクラブの特徴を申し上げるならば、それは歌の上手な会員が多いことです。ソングリーダー委員会（委員は他の委員会と兼任）が設置されていて、RIテーマソングは全員で合唱できるよう指導し、ロータリーソング以外にも四季にあった歌を合唱して楽しんでおります。

今期、会長は会員増強を引き続き重点的にを行い、できるだけ多くの会員にロータリー活動の場を与え、物心共に力を貯え、来るべき未来にそなえんとの方針であります。どうかご期待下さい。

●名古屋名駅ロータリークラブ

創 立	平成3年4月3日
承 認	平成3年4月17日
チャーターメンバー	66名
チャーターナイト	平成3年6月1日
特 別 代 表	薦田 国雄氏
スポンサークラブ	名古屋西ロータリークラブ
事 務 所	名鉄ニューグランドホテル
例 会 場	名鉄ニューグランドホテル
例 会 時 間	水曜日12:30～13:30
テ リ ト リ ー	中村区 西区



同好会紹介

名古屋中ロータリークラブ

野球部

私共の野球部は、2760地区で4番目のクラブとして、1986年に結成されました。

その間、球児憧れの甲子園球場で毎年開催される全国ロータリークラブ野球大会には、第8回大会で初出場を果たし、現在までに4回の出場経験を有しております。

結成当時あるいは初出場当時は、若かった部員の平均年齢も時の流れと共に高くなった上に、基礎体力も同様に「経年変化」に勝てずスタミナに不安を持つ状況になってまいりましたので、最近では地区野球大会での試合も毎回試合可能な9人の確保に汲々としている状態であります。

かかるような状況では、歴史と伝統を誇れませんが、折角の野球部の存亡もあやういとの危機感を持ち、体形を隠すことができるようユニフォームを新しくして少しでも入部しやすい野球部であるべく、部員全員で全盛期の往時に戻りたいと躍起になって部員増強を図っておるところですが、現実にはなかなか思うにまかせないところであります。

しかしながら、我が野球部の伝統であります体は動かないが達者な「口」と永遠に不滅の「野球小僧」の心意気で今後も頑張っている所存であります。

勿論、結果は兎も角として春と秋に開催される2760地区大会では絶えず「優勝」を目指すと共に、球児憧れの甲子園大会出場への夢だけに終わらせず今後も実現に邁進して参ります。

最後に、心意気とは裏腹の現実すなわち'96～'97年度の「戦績」は次の通りです。

'96～'97年度2760地区秋季大会

9/28 (三好公園野球場)

豊田RC対名古屋中RC 10：1で完敗

'96～'97年度2760地区春季大会

4/26 (同上)

豊田三好RC対名古屋中RC 4：15で勝利

5/17 (同上)

豊田東RC対名古屋中RC 7：2で完敗

記 主将 大脇 始



日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会 第3回 JGFR名古屋大会

● ご案内 ●

謹啓、ゴルフを愛好する全国のロータリアンの皆様、お元気ですか。

第3回JGFR名古屋大会は、来る9月8日(月)、土と炎の街多治見市にありますスプリングフィールドゴルフクラブで開催いたします。名匠ロバート・トレント・ジョーンズⅡの設計による戦略性に富んだ美しいコースです。

1. 大会日時 平成9年9月8日(月) …雨天実行…
2. 大会会場 スプリングフィールドゴルフクラブ
所在地：〒507
岐阜県多治見市小名田町1番地
TEL：0572-25-1111
FAX：0572-24-1341
3. I M 当日2760地区ガバナーによるインターシ
ティミーティングが行われますのでメイ
キャップすることもできます。
4. お申込み 申込先着順で受け付けておりますが、好
評につき定員間近となっております。詳
しくは、大会事務局へお問合せ下さい。
5. 締 切 り 7月31日 (木)

◇お問合せ先◇

TEL 0572-25-1111

FAX 0572-24-1341

JGFR名古屋大会事務局 柴田・寺沢

R I 年次大会に参加して

ガバナー 犬飼 栄輝

6月のスコットランドは最高の季節だった。

風さわやかな緑の山野、氷河が山を削ってつくった青い湖、家々の垣根や窓には、春と夏のカラフルな花が一斉に咲いていた。

6月15日からグラスゴーで、97年国際ロータリー年次大会の開会式と本会議が開催された。

参加者は世界各国から約25,000人、一番多いのは米国約8,000人、次が英国、3番目が日本で約2,900人だった。

開会式は広大なイブロック・スタジアムで行なわれ、25,000人がすっぽり入った。

これまでは会場の都合で、いつも2回に分かれていた開会式が1回になったのも、大きな前進だった。

スコットランドでR I 年次大会が開かれるのは史上2度目とのこと。初回は1921年に開催され、ポールハリスがシカゴで初めてクラブをつくってから16年目に、エジンバラで開かれた。

これは米国以外で行なわれた最初の年次大会で、この時の参加者は約2,500人だった。

76年ぶりに開かれるR I 大会に、参加者は往時の10倍となり、グラスゴーは街をあげての歓迎ムードに包まれていた。

ジ・アイ会長の歓迎挨拶のポイントは、本年度の重点テーマである新世代対策のため世界中で6,000をこえる会合が持たれ、更に多くの効果的なプロジェクトが実行されていることに対する喜びと感謝であった。

今回の大会では、ユネスコとの連携やライオンズクラブとの初めての共同宣言が発表された。入り口は別でも、地球市民としての使命感や奉仕活動という出口での共通性と、相互の協力がアピールされた。

25,000人という参加者は、グラスゴーやエジンバラでのホテルの収容力をはるかに上回る。スコットランドの人たちは、各国からのロータリアンに積極的にホームステイを呼びかけ、交流の実をあげていたようだ。

スコットランドには660の古い城跡があるという。2000年も前に海を渡ってきたローマの軍隊、

バイキングとの争い、そして陸続きのイングランドとの宗教や王室をめぐる複雑な戦いの跡。スコットランドの歴史はきびしい戦争の歴史である。

ローマがつくったミニ「万里の長城」もあれば、イングランドとの間には、今でも国境がある。

心に残るスポットを一つ。それはロバートバーンズ（1759～1796）の詩の故郷である。スコットランドもグラスゴーから南はローランドといって、羊の群れが遊ぶのどかな平野が続く。私たちが卒業式で歌う「蛍の光」はスコットランドの古い民謡だった。それに「AULD LANG SYNE」（遠い昔）という詩をつけたのがバーンズだ。明治時代に日本に伝わって、歌の意味は変わったが、その曲はひき継がれた。

「夕空晴れて」の「故郷の歌」は、バーンズの詩では麦畑での恋の歌、「アーニーローリー」の詩も彼の作品である。

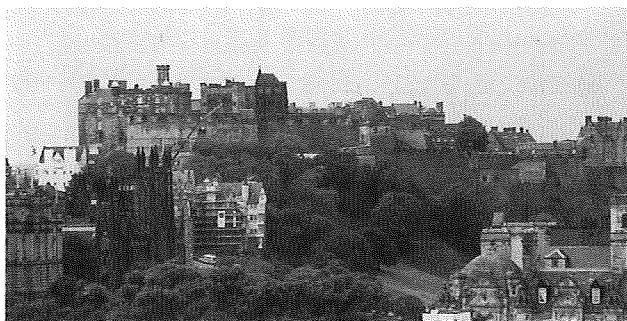
バーンズは日本でいえば、啄木か新美南吉のような存在だろう。貧しく不幸な青春時代を過し、37歳で世を去った。スコットランドの民謡に、親しみやすい歌詞をつけ、世界のメロディにした功績は大きい。産地直送のウイスキーを片手に、詩作を楽しんでいたのではないかと思う。

19世紀から20世紀なかばまでは、グラスゴーは世界の重工業、とくに造船業の中心だった。

日本海海戦で活躍した戦艦「三笠」も、第2次大戦後一世を風靡した豪華客船の「クイーンメリー」号もここで誕生した。

R I 大会歓迎パレードで、先頭に立っているのはタータン（格子縞）のキルト（スカート）姿の楽士たち。高低自在のバグパイプ独特の旋律が心を打ち、時間が逆に流れて、私たちは中世にいるような気がしてくる。

平和の有り難さと、ロータリアンとしての連帯を実感した楽しい大会参加ツアーだった。



エディンバラ城の全景

1999～2000年度 **ガバナー・ノミニー候補者の推薦について**

国際ロータリー第2760地区指名委員会は各クラブに対し、次の通り1999～2000年度（内藤年度の翌年度）ガバナー・ノミニー候補者指名案の提出を要請致します。

提案は、候補者推薦クラブの例会で選択され、クラブ幹事によって正式に証明された決議という形式で提出して下さい。

なお、推薦クラブの他、地区内5クラブの推薦を必要としますので、この点特にご注意願います。

詳細は、R. I. 細則第13条第2節をご参照下さい。

・1997～'98年度 地区指名委員会メンバー
地区指名 委員長 宮地 信尚 (P.D.G)
" 副委員長 蜂谷 弘道 (P.D.G)
" 委 員 石川 和昌 (P.D.G)
" " 松本 宏 (P.D.G)
" " 神戸 政治 (P.D.G)

[送付先]

〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄グランドホテル14階417号室
国際ロータリー第2760地区
ガバナー 犬飼 栄輝

[締切り]

1997年9月3日 必着

日本のロータリーを海外に知らせる最も良い贈り物
『ロータリーの友』英語版 "THE ROTARY-NO-TOMO"

新年度分 ご予約受付中!!

本年度は第47号誌（冬号）を11月1日に、
第48号誌（春号）を来年4月1日に刊行の予定です。

●掲載記事内容

『ロータリーの友』誌より海外向けにふさわしい記事を編集転載。

また、日本の地区別ロータリー地図と全クラブの例会日一覧表

その他日本の文化、社会、経済および一般事情の紹介記事を掲載。

●活用方法

1. 特に冬号（グリーティングカード付き）の場合クリスマスカード代わりに、海外のロータリアン、友人、知人または、海外の取引先に贈呈。
2. 海外の姉妹クラブ、友好クラブに定期的に送付。
3. 1998年国際大会（米国インディアナポリス）参加の際、外国のロータリアンに配布、その

他海外旅行の際おみやげとして携行。

4. 海外でメイクアップのとき、また例会で海外ビジターに贈呈。
5. ロータリー財団国際親善奨学生、青少年交換学生、GSEメンバー（派遣、受け入れとも）、米山奨学生、本人およびホスト、カウンセラーに贈呈。
6. 地域や大学、高校の図書館に寄贈。
7. RI発行の公式名簿（Official Directory）を利用して外国のRC会長に贈呈（一例：加盟した年が同じクラブに贈る）。

●雑誌代金

1口分1,000円（消費税別、国内送料共）
第47号誌と第48号誌を各1冊、合計2冊で1口

●海外代行郵送もいたします

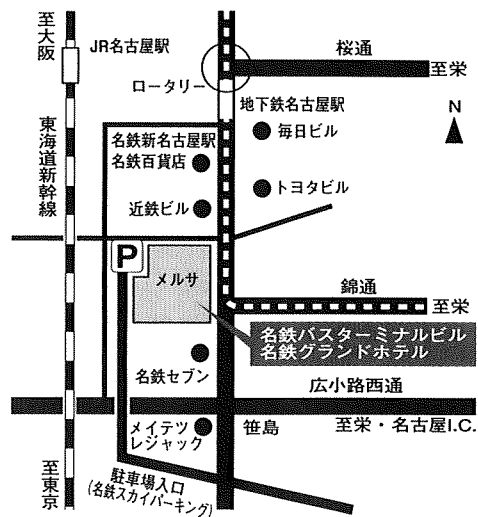
先方のご住所、ご氏名をいただければ、代行郵送もいたします。

国際奉仕の一助としてぜひご活用ください。なお、海外送料は、実費で請求させていただきます。

事務所 〒450 愛知県名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020
FAX 052-561-0021

執務時間 午前9時～午後5時
土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。なお、休務日は留守番電話が設置してあります。

スタッフ 地区幹事 片山 主水
地区副幹事 伴 禎夫、宮崎 薫、
大西 弘高、福島 啓氏、
佐久間貞介、鈴木 雅雄
地区会計長 近藤 三吉
地区会計監事 福山 巧
事務局員 渋谷 美香、佐幸美奈子



文庫通信 117 号

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、27年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万7千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご活用くださるようお願いしております。

☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧出来ますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。

(貸出し)

- ・一般資料(印刷物)の貸出しは出来ませんが、視聴覚資料(ビデオ・スライド・フィルム)は予約制(申込用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日